

マグロ資源の乱獲を防止する日本のイニシアティブ

—美味しいマグロをいつまでも—

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎

日本人に最も人気のあるマグロ。サシミ、寿司は、日本の優れた食文化。最近では、欧米でも寿司に人気が高まっている。健康食品として肉から魚へのブームにも乗っているらしい。

ところで、このマグロは資源量の満限まで利用されており、特にメバチ、クロマグロ、ミナミマグロは満限を超え、厳しい漁獲規制が課せられている。

マグロ資源を今後も利用できるようにするため、社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構 (OPRT) が、平成 12 年、日本のイニシアティブで設立された。今、日本をはじめ、台湾、韓国、中国、インドネシア、フィリピン、エクアドルが会員となって、限りある天然資源のマグロを獲り過ぎないように漁船隻数を制限したり、海賊漁船を締め出したり、協力して活動している。

資源に見合うように台湾は、来年までに 194 隻の大型マグロ延縄漁船をスクラップすることを決定、既に作業を開始している。このような努力が、「美味しいマグロをいつまでも」という OPRT の標語を実のあるものになっている。

マグロの好きな日本の消費者の皆様が、マグロ資源の保存に向けたこうした努力に関心を持っていただけることを願っている。

OPRT ホームページ (www.oprt.or.jp) 一度覗いてみませんか。世界で唯一、日本だけが作った「まぐろ法」も載っています。